



Google Pixel 3 バッテリー交換

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Google...

作成者: Arthur Shi



はじめに

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Googleによって承認されたものではありません。iFixitの修理ガイドのクオリティーについては、[こちら](#)を参照してしてください。

このガイドに従って、Pixel3の所望したバッテリーを取り外しまたは交換します。バッテリーが膨張している場合には、[適切な予防措置を取ってください](#)。

安全のために、スマートフォンを分解する前にバッテリーを25%未満まで放電してください。これによって、万が一修理中にバッテリーが損傷した際に、危険な熱現象が起こるリスクが軽減されます。

🔧 ツール:

プラススクリュードライバー(#00) (1)
iOpener (1)
ハンドル付き吸盤 (1)
iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
#000 プラスドライバー (1)
イソプロピルアルコール (1)
スパッジャー (1)
ピンセット (1)

⚙️ 部品:

Google Pixel 3交換用バッテリー (1)
Google Pixel 3 バッテリー用接着ストリップー純正品 (1)
プレカット接着カード (1)

手順 1 — バックカバーの接着剤を緩めます



- [温めたiOpener](#)をデバイス底に、約1分間のせます。

手順 2 — 継ぎ目部分に隙間を作ります



- バックカバーの温めた下端に吸盤カップを装着します。
 - ① バックカバーのひび割れ程度が大きい場合は、吸盤カップが装着しやすくなるように、透明な補強テープでカバーを覆います。
 - 吸盤カップを強く一定の力で、隙間が生じるまで持ち上げます。
 - ① あなたのデバイスの使用年月にもよりますが、この作業にはかなりの力が必要です。作業が困難な場合は、より熱を当てて温めて、再度チャレンジしてください。
 - 開口ピックを隙間に差し込みます。
- ⚠ メタル製ツールでこじ開けると、ガラス製のバックカバーに傷がついたり、割れたりすることがありますので、ご注意ください。パネルが動かない場合は、ドライヤーやヒートガンでさらに熱を加えてください。**

手順3 — 指紋認証ケーブル情報



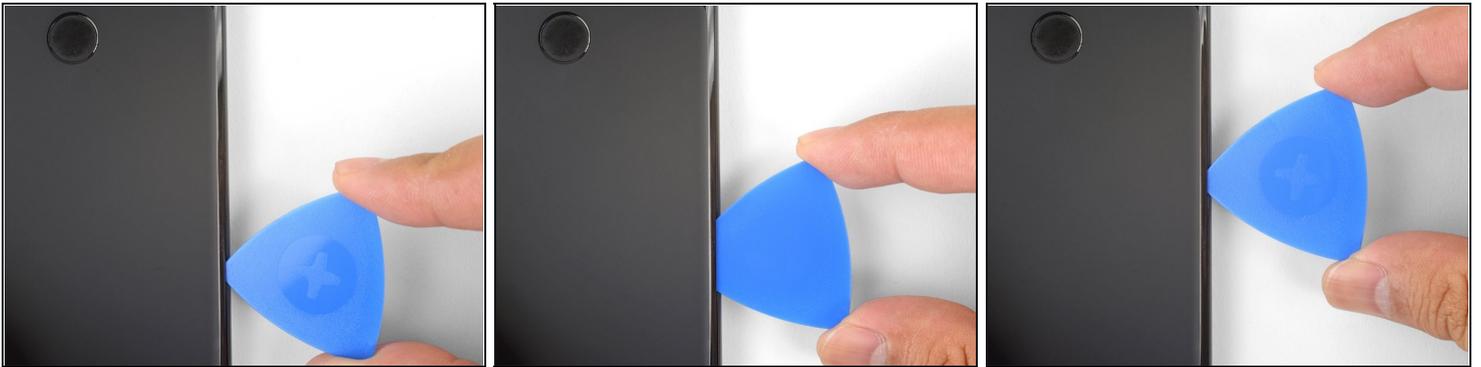
⚠ 電源ボタン上からこじ開ける際は、開口ピックを深くまで差し込まないようにご注意ください。指紋センサーケーブルにダメージを与えてしまいます。

手順4 — 接着剤を切開します



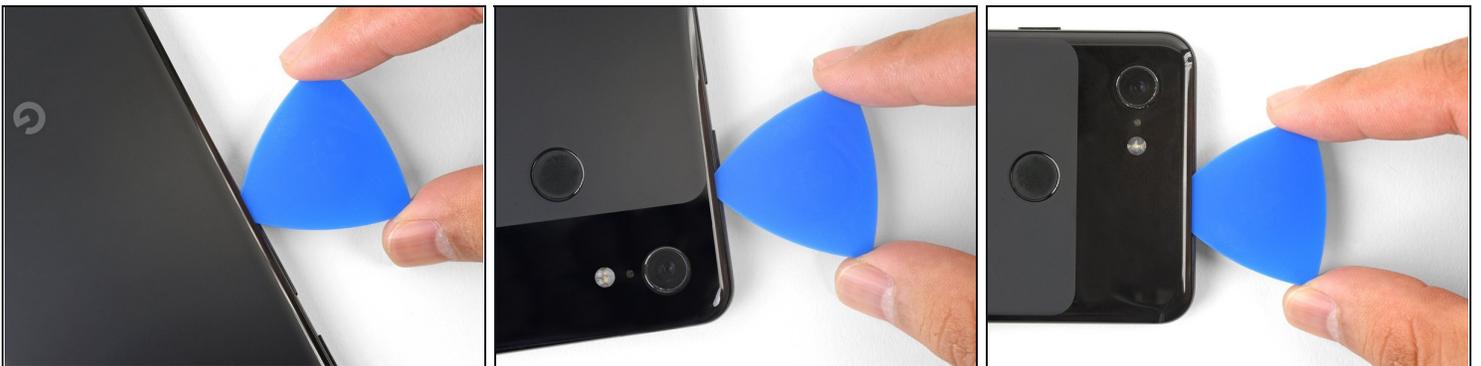
- デバイスの下側端と右側コーナー周辺に沿って、接着剤をスライスして切開します。
- 接着剤が再装着しないように、下側端にピックを残します。

手順 5



- iOpenerで右側端を温めて、開口ピックで接着剤をスライスして切開します。
- ① 接着剤は粘着性が強い場合があります。ピックを、裁縫のような動きで内側と外側に交互に差し込んで抜き出しながら、スライスしてください。

手順 6



- 続けてデバイス周辺の残りの部分も温めてスライスします。接着剤の再装着を防ぐため、開口ピックを各辺に残してください。
- ⚠ 電源ボタンの上をスライスする際は、指紋センサーケーブルにダメージを与えないよう、ピックを深くまで差し込まないでください。**

手順7 — バックカバーの左端を持ち上げます

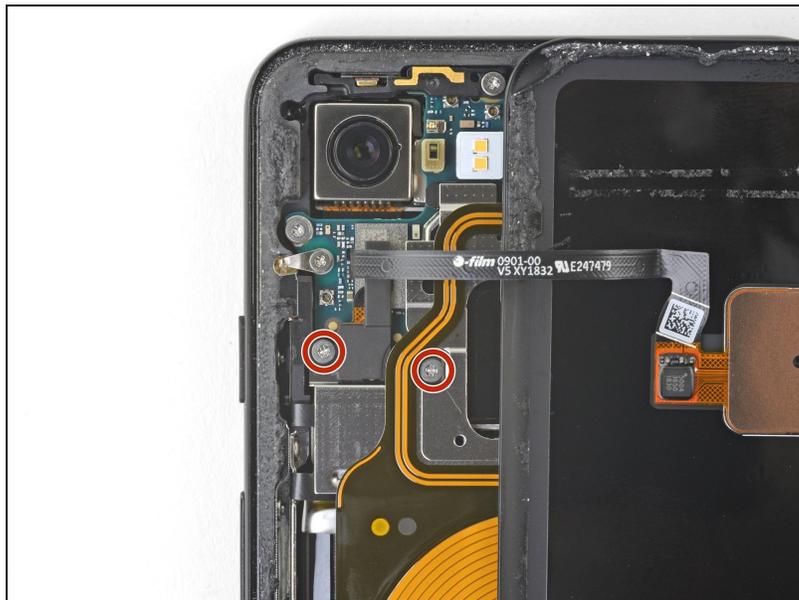


- デバイス周辺のスライスができたなら、バックカバーの左側端を慎重に持ち上げます。

⚠ バックカバーを完全に外さないでください。指紋センサーケーブルでデバイス本体と繋がったままです。

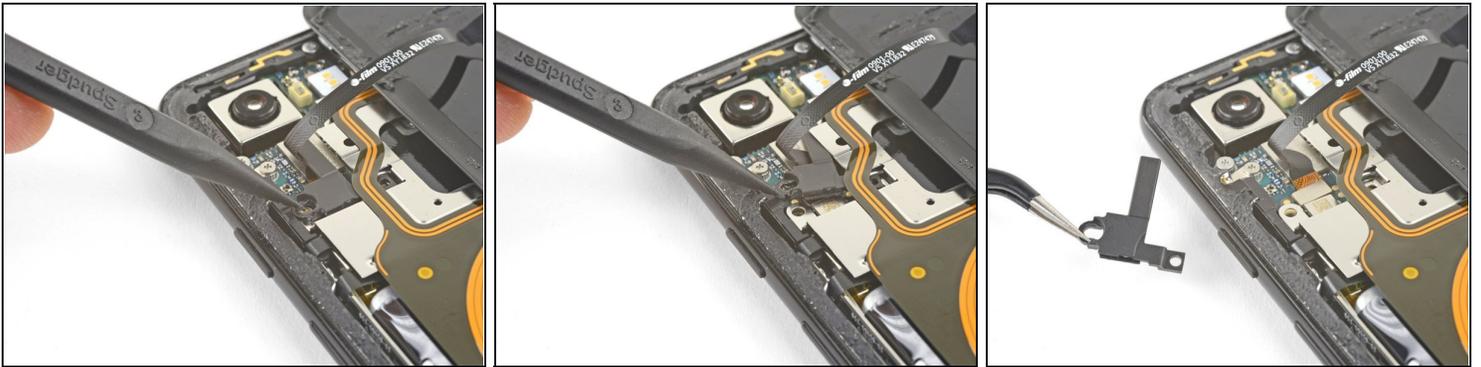
- リアカバーを長辺側に沿って裏返し、指紋センサーケーブルに圧力がかからないように置きます。

手順8 — ネジを外します



- 指紋センサーのコネクタブラケットを固定している、4.1 mm 長プラスネジを2本外します。
- ★ この修理の間、[各ネジの位置情報を記録し](#)、元の場所に正確に戻しているか確認してください。
- ★ 再組み立ての際は、ネジを締めすぎないようにご注意ください。ディスプレイにダメージを与えることがあります。

手順 9 — 指紋センサーコネクタのブラケットを外します



- スパッジャーの先端を使って、NFCコイル底側から指紋センサーのコネクタブラケットをスライドして外します。
- 指紋センサーのコネクタブラケットを取り出します。

手順 10 — 指紋センサーコネクタの接続を外します



- スパッジャーの先端を使って、ソケットから指紋センサーのコネクタの接続を外します。
 - ① このようにコネクタを外す際は、ソケット周辺に付けられ、表面に実装された小さなコンポーネントを外さないように注意してください。
- ☑ このような**プレスコネクタ**を再装着する際は、カチッと所定の位置に収まるまで慎重に位置を合わせて押し下げ、反対側も同じ作業を繰り返します。中央部分を押しさないでください。コネクタの位置がずれていると、ピンが曲がって永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

手順 11 — バックカバーを外します



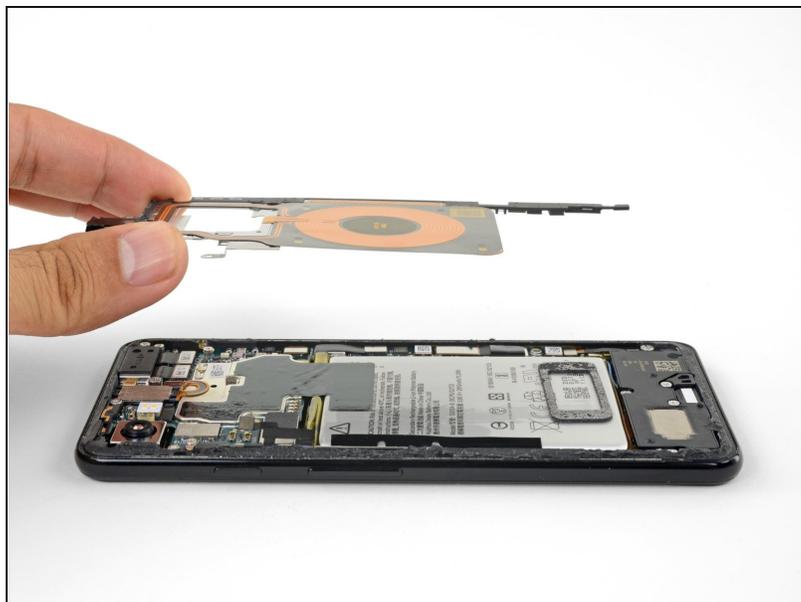
- バックカバーを取り出します。
- ☑ 交換用のバックカバーを取り付ける前に、デバイスのフレームから接着剤の残りを綺麗に取り除いているか確認してください。開口ツールを使って、高濃度イソプロピルアルコールで表面を綺麗に剥がします。
- ☑ バックカバーを再利用する場合は、接着剤を綺麗に取り除き、バックカバー用の接着剤を塗布してください。
- ☑ 交換用バックカバーをインストールする場合、オリジナルのパーツとよく見比べてください。フラッシュディフューザーなどの残りのパーツを交換用パーツに移植してください。
- ☑ [このガイド](#)を参照して、新しいバックカバーの接着剤を正しく装着してください。

手順 12 — ネジを外します



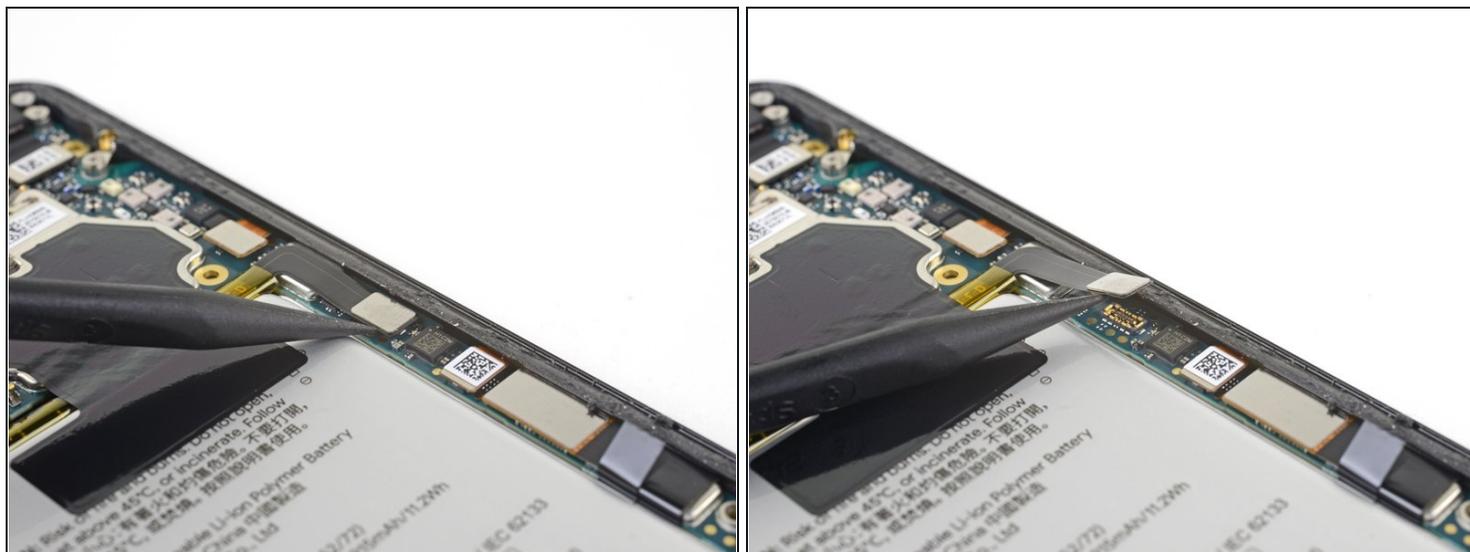
- ワイヤレス充電コイルを固定している5本のプラスネジを外します。
- 1.9 mmネジ—2本
- 4.2 mmネジ—2本
- 4.3 mmネジ—1本

手順 13 — 充電コイルを外します



- ワイヤレス充電コイルを持ち上げて外します。

手順 14 — バッテリーケーブルの接続を外します



- スパッジャーの先端を使って、デバイスの右端付近のソケットからバッテリーのプレスコネクタを持ち上げて、接続を外します。

手順 15 — バッテリーから黒いテープを剥がします



⚠ バッテリーの近くでスパッジャーを使用する際には、バッテリーを突き刺さないように十分に注意してください。

- バッテリーとマザーボードをつないでいる黒いテープの下の隙間でスパッジャーの先端をスライドさせます。
- その溝に沿ってスパッジャーをスライドさせ、バッテリーの側からテープを引き離します。
- バッテリーから慎重にテープを剥がし、邪魔にならないところに折りたたみます。
- テープはマザーボードとバッテリーの冷却パッドとして機能しています。作業中、テープが裂けてしまっても機能します。

手順 16 — ボタンコネクタの接続を外します



- スパッジャーの先端を用いて、スマートフォンの左端付近にあるマザーボードのソケットからボタンコネクタの接続を外します。
- ボタンコネクタとそのケーブルを、バッテリーの邪魔にならないように押し上げます。

手順 17 — プルタブを緩めます



- スマートフォンの左端にある黒いバッテリープルタブの下にスパジヤの先端を差し込みます。
 - スパジヤを端に沿って上方に向かってスライドさせ、プルタブをバッテリーから緩めます。
- ① バッテリーは、3つの独立した伸縮性のある接着剤片によって固定されており、単独の黒いプルタブに接続されています。3つを一緒に引っ張ることもできますが、黒いプルタブを切り込みのあるところでカットして、それぞれの片を別々に引いた方が簡単です。

手順 18 — プルタブを外します

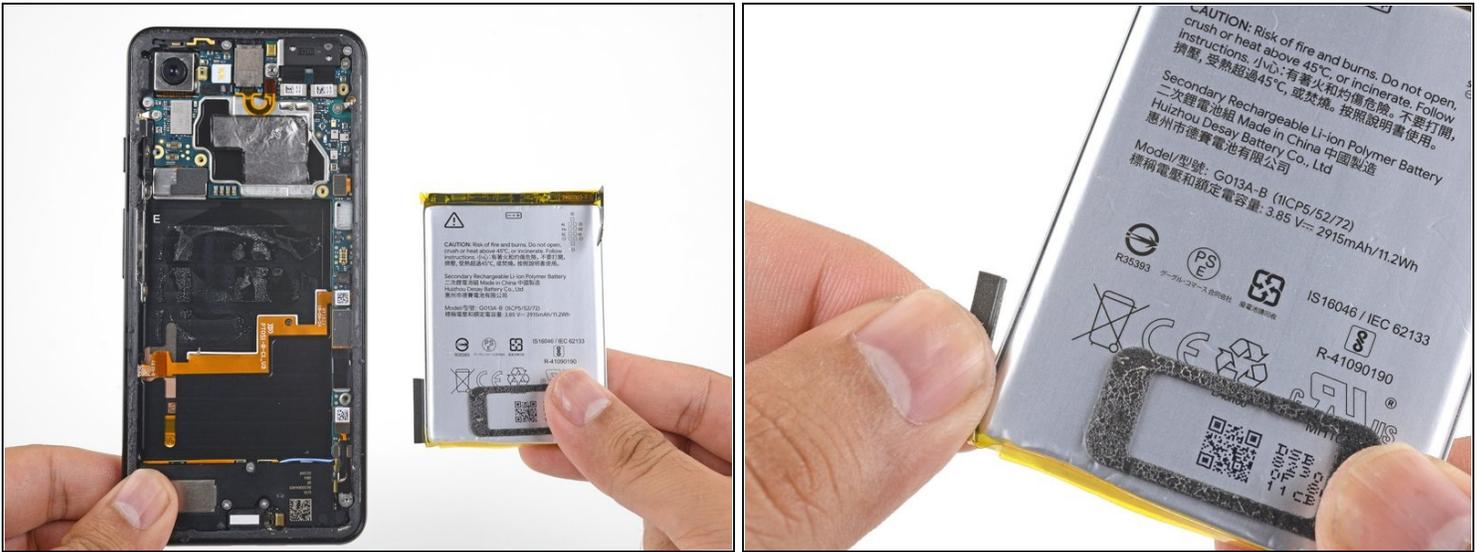


- 黒いプルタブを浅い角度で一定の力で引っ張ります。接着剤が長く伸びたら、ピンセットに巻きつけて引っ張り続けます。
- 接着剤片が切断した場合、オープニングピックを使ってバッテリーを動かして緩めます。

⚠ バッテリーの裏側にはフレックスケーブルが一本通っています。このケーブル付近をこじらないで下さい。ケーブルを破損する恐れがあります。

- ① プラスチックのスポイトもしくは注射器に高濃度イソプロピルアルコールを満たして、バッテリー左下の底部分に数滴注入します。バッテリーの接着剤が弱くなるまで、1分間待機してください。

手順 19 — バッテリーを外します



- バッテリーを取り外します。
- バッテリーの左端の小さな緩衝材ブロックを慎重に取り外し、交換用部品に移します。もし裂けはじめてしまったら、スパジジャーの平面側先端を使って、バッテリーからこじ開けてください。
- ☑ 交換用バッテリーを取り付けるには：
 - スマートフォン側のバッテリーがあった場所にいくつかの両面テープを貼ります。Tesaテープを使用する場合は、[このガイドに従って](#)作業を進めてください。もしストレッチリリースタイプの接着剤を仕様する場合は、[このガイド](#)を参照してください。
 - 一時的にバッテリーコネクタをマザーボードのソケットに再接続します。これにより、バッテリーは適切に配置されます。
 - テープライナーをはがして、接着面を露出させます。
 - バッテリーを両面テープの上に置き、しっかりと押し付けます。
 - マザーボードのソケットからバッテリーコネクタを外し、再組み立てを再開します。

バッテリーを最適なパフォーマンスにするには、新しく取り付けられたバッテリーを調整します。100%に充電し、さらに2時間充電し続けてください。その後、バッテリー切れによってデバイスがシャットダウンするまでデバイスを使ってください。最後に、中断を挟まずに再び100%まで充電します。

デバイスを組み立て直すには、これらの手順を逆の順序で実行します。

あなたのe-waste（電子廃棄物）は[R2またはe-Stewardsの認証済みリサイクル業者](#)に持っていきましょう。

修理が思うように進みませんでしたか？トラブルシューティングのヘルプについては[Google Pixel 3のアンサーフォーラム](#)をご覧ください。